

受信メール文書等のバックアップ

(Netscape Communicator4.7 及び Outlook Express5.0)

Windows 版 Ver. 1.0

教育学研究室
篠原文陽児

平成12年7月12日

も く じ

1	Netscape Communicator 4.7 に付属する電子メールソフト Messenger にある「メールボックス」等のバックアップ	
	mail フォルダの別のメディア等へのコピー	3
	[方法1] 基本操作：mail フォルダの検索とバックアップ	3
	[方法2] 応用操作：受信メール等のみのバックアップ	5
2	Outlook Express 5 の受信メール等のバックアップ	6
	拡張子 dbx ファイルの検索と別のメディア等へのコピー	6
	(1) バックアップのためのメディアやフォルダの作成	6
	(2) バックアップすべきファイル等の検索とコピー	7
	(3) バックアップすべきファイル等の貼りつけ	7
	(4) バックアップファイル等の最終確認	8

(注1) 本文で記述されている内容は、市販されている一般的な Windows 機種の場合について述べたものである。つまり、(1) 購入時から予め導入されているか(「バンドル」ということがある)、(2) Web ページなどからインターネット等を通じてダウンロードしたり、または、(3) 雑誌などに添付されている CD-ROM 等によって、市販されている一般的な Windows 機種に適用されることがらです。

したがって、例えば、大学内の LAN 等ネットワークで接続された機種(X 端末など)と呼ばれる機種に、記述されているすべての内容が適用できるものではない。この場合には、事前に、担当者に問い合わせるなどの注意が必要である。

(注2) バックアップファイルは、メディアを変えて作成しておくことが望ましい。例えば、あるハードディスク内のファイルのバックアップは、そのバックアップするファイルの大きさにもよるが、別のハードディスクか、別のメディアつまり、FD(フロッピーディスク)、MO(光磁気ディスク)等々に、定期的に保存しておくことが望ましい。

Netscape Communicator 4.7 に付属する電子メールソフト Messenger にある
「メールボックス」等のバックアップ
mail フォルダの別のメディア等へのコピー

[方法 1] 基本操作 : mail フォルダの検索とバックアップ

- (1) 画面左下の「スタート」ボタンにカーソルを移動させてクリック¹⁾し(「ポイント」ということがある) スタート→検索 →ファイルやフォルダ とたどり、「ファイルやフォルダ (F) ...」をクリックする。(図 1 参照)
- (2) 表示されるウィンドウの中で、一番下の入力欄「探す場所 (L)」の内容として C ドライブを選択する (通常は、この操作ができるようにウィンドウが表示されるように設定されている²⁾。もしこの操作ができないのであれば、ウィンドウの中の「名前と場所」タグをクリックする) 次に、同じく、一番上の「名前 (N)」の欄に、「mail」と入力した後、「検索開始」ボタンをクリックする。(図 2 参照)



図 1 「スタート」ボタンのクリック...



図 2 「検索開始」

- (3) ウィンドウ内の下に表示される「mail」という文字の含まれたファイルやフォルダから、「mail フォルダ」と表示される「c:\Program Files\Netscape\Users\XXXX」を見つける (この XXX が利用者であるあなたの名前などである)。(図 3 参照。図 3 では、XXX に prof_fumihiko_shino と表示されている)
- (4) フォルダが見つかったら、このフォルダの「名前」の部分をクリックし、表示されるメニューの中から「コピー」を左クリックする。(図 4 参照)

¹⁾特に断らない限り「クリック」といえば「左クリック」である。

²⁾「デフォルト」ということがある。

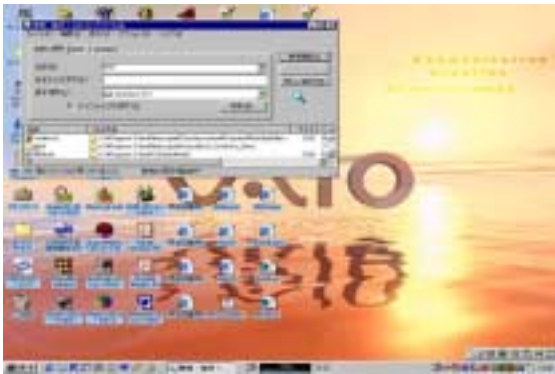


図3 検索結果と選択



図4 該当のフォルダのコピー

- (5) コピー先のフォルダや他のメディアの上で、右クリックして「貼り付け」る。(図5参照。図5では、同じコンピュータないの「マイドキュメント」に貼り付けている。)
- (6) 「マイドキュメント」をダブルクリックして、mail フォルダが、確かにあるか確認する。(図6参照)
- (7) 最後に、mail フォルダをダブルクリックして、この内容を表示させ、コピーされているか、確認する。



図5 「マイドキュメント」への「貼り付け」



図6 「貼り付け」結果の確認



図7 「mail フォルダ」の内容表示

mail フォルダ内の「Inbox」ファイルが受信メール、「Sent」ファイルが送信済みメールである。

これらの存在を確認すれば、Netscape Messenger 内のメール等は削除してもよい。

なお、バックアップした受信メール等は、単独で読むことはできず、あくまでも、Netscape の Messenger で読めるファイルである。

[方法 2] 応用操作：受信メール等のみのバックアップ

[方法 1] で記したように、「受信メール」は、ハードディスクの中では、Inbox というファイル名である。したがって、次のように、上記(1)(2)で示した方法で、Inbox ファイルを検索して、これを、(4)(5)(6)(7)に同じく、別の場所やメディアに「コピー」し「貼り付け」てもよい。(図 8 参照)

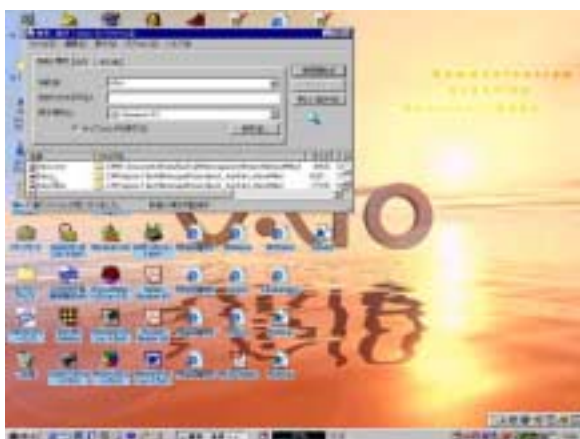


図 8 Inbox の検索

Outlook Express 5 の受信メール等のバックアップ 拡張子 dbx ファイルの検索と別のメディア等へのコピー

電子メールソフト「Outlook Express 5」の受信メール等は、その拡張子が、dbx である。したがって、Netscape Messenger の受信メール文書などよりもいっそう、そのバックアップは容易である。

- (1) 先ず、受信メール文書等をバックアップし保存しておくためのフォルダやメディア等を準備しておく。(図9参照。図9では、「マイドキュメント」の中に「OEBackUp」というフォルダを作成してある。)
- (2) 画面左下の「スタート」ボタンにカーソルを移動させてクリックし(「ポイント」ということがある)スタート→検索 →ファイルやフォルダ とたどり、「ファイルやフォルダ(F)…」をクリックし、表示されるウィンドウの中で、一番下の入力欄「探す場所(L)」の内容としてCドライブを選択する(通常は、この操作ができるようにウィンドウが表示されるように設定されている。もしこの操作ができないのであれば、ウィンドウの中の「名前と場所」タグをクリックする)。次に、同じく、一番上の「名前(N)」の欄に、「*.dbx」³⁾と入力した後、「検索開始」ボタンをクリックする。(図10参照)



図9 バックアップ用フォルダ等の作成



図10 拡張子 dbx ファイルの検索

³⁾*.dbx は、拡張子が dbx であるファイルを意味する。つまり、この検索をすると、abc.dbx、a12.dbx、xy0912.dbx 等々、拡張子に dbx が付いたすべてのファイルが探し出されることになる。

- (3) バックアップしたいファイルをクリックして選択する。(図 1 1 参照。図では、受信メール文書の入った「受信トレイ」を選択している。また、図 1 2 では、「編集メニュー」から「すべてを選択」している。つまり、受信トレイ、送信済みアイテム、削除済みアイテム等すべての文書等をバックアップしたい場合が、これに相当する。)



図 1 1 「受信トレイ」の選択



図 1 2 すべてのファイルを選択

- (4) 図 1 1 の場合でも、図 1 2 の場合でも、「編集メニュー」から「コピー」をクリックする。(図 1 3 参照。図の場合は、図 1 2 の操作に引き続いて行われている。)
- (5) 最初に作成してある (図 9 参照) OEBackUp フォルダに、右クリックによって「貼り付け」を行う。これがバックアップファイルである。(図 1 4 参照)



図 1 3 該当ファイルの「コピー」



図 1 4 「貼り付け」によるバックアップ

- (6) ファイルを「貼り付けた」OEBackUp フォルダをダブルクリックして、受信トレイ、送信済みアイテム、削除済みアイテムなど、必要なファイルがあるか確認する。(図 1 5 参照)



図 1 5 バックアップファイルの確認